

# 進修館 NEWS

## 臨時休館

のお知らせ

誠に勝手ながら下記の日程は臨時休館とさせていただきます。

- 【定期清掃】2025年2月10日(月)終日
- 【館内整備】2025年2月14日(金)16:00～21:30
- 【館内整備】2025年2月17日(月)16:00～21:30
- 【館内整備】2025年2月24日(月)17:00～21:30

上記期間内は、施設の予約受付・手続き、お問い合わせ業務もお休みします。ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

進修館  
共催事業

2024年度の集大成！2月のヒュッゲコンサート in 進修館

## カンパニー・ヒュッゲコンサート in 進修館



西村翔太郎 ソロリサイタル

2月2日(日) 【開場】13:30  
【開演】14:00

新城匠・西村翔太郎 コンサート

2月16日(日) 【開場】13:30  
【開演】14:00

料金：前売 大人 2000円、学生 1500円、小学生以下 1000円(当日券+300円)  
主催：カンパニー・ヒュッゲ 共催：コミュニティセンター進修館

会場：進修館 小ホール **進修館 窓口にて、前売チケット販売中！**

質の高いクラシック音楽を提供して下さる「カンパニーヒュッゲ」は、2024年度もたくさんの感動の波を進修館に起こしてくれました。コーディネートしている横田純子さんは、若手音楽家にたくさん演奏の機会を得てもらいたいとの思いで尽力していらっしゃいます。出演する音楽家のみなさんによると、「横田さん

の存在は、まるでお母さんのよう」だとのこと。演奏会を聴きにきた後に率直な感想を伝えてくれたり、コンテストでの受賞を心から喜んでくれたり、時にはおいしい食事で元気づけてくれたり…。音楽に関する部分でも、メンタル的なことでも、程よい距離感で支えているようです。進修館での演奏会においても、地域

の方々喜んでくださるようにと選曲のアドバイスもしていらっしゃいます。だからこそ、温かみのある演奏会になるのですね。

2月に開催されるのは、進修館で開催されるカンパニー・ヒュッゲコンサートの集大成ともいえる企画です。ぜひお楽しみください！



昨年2月のヒュッゲコンサートにて。右から2人目が横田さん。

### ヒュッゲ・コンサート in 進修館 2025

日時：2025年2月2日(日) 西村翔太郎 ソロリサイタル  
2025年2月16日(日) 新城匠・西村翔太郎 コンサート  
開場 13:30 開演 14:00

料金：前売 大人 2000円 学生1500円  
小学生以下 1000円 ※当日券 +300円

出演：西村翔太郎、新城匠

問合せ：コミュニティセンター進修館

0480-33-3846/info@shinsyukan.or.jp



進修館  
共催事業

今年も開催！へそたんけん2025

2023年3月、進修館の設計理念に共感するアーティストが集結してスタートしたアートプロジェクト「へそたんけん」。進修館を設計した象設計集団は、「世の中にあるたくさんの中心が交流する場所、すなわち「世界の中心のひとつ」との思いを込めています。そんな進修館に集まる表現者たちが、それぞれが大切にしていること＝「へそ」を会期中に思

いっきり表現し合い、自分、他者、地域などとの関係を改めて体感する機会をつくるのが、このプロジェクトの目的です。3回目の開催となる2025年は、進修館オープンカレッジから生まれ、その名に同じく「へそ」を掲げる「わたしのへそ本委員会」も加わって、さらに充実した企画になる予感です。



へそたんけん

へそたんけん 2025

日時：2025年3月23日(日)  
～2025年3月30日(日)  
会場：2階ロビー(メイン会場)  
主催：へそ計画  
共催：コミュニティセンター進修館

### 参加アーティスト(2025年1月現在)

#### 浅見俊哉(あさみ しゅんや)

美術家・写真作家・造形ワークショップデザイナー。1982年東京都葛飾区生。2006年文教大学教育学部美術専修卒業。2004年頃から、「時間」と「記憶」をテーマにものを直接感光面に置き一定の太陽光で撮る写真(フォトグラム)を制作。代表作にヒロシマの被爆樹木を2012年より毎年撮り続ける『呼吸する影-被爆樹木のフォトグラム-』がある。「つくる

こと」と「つたえること」の両輪を持って活動する事が自身の芸術活動であると考え、全国各地でワークショップやアートプロジェクトを実施し、制作者と参加者が双方向的に創造力を生み出せる「場」をつくっている。近年は「さいたま国際芸術祭2023」市民プロジェクトキュレーターを務め「さいたまアーツセンタープロジェクト(SACP)」を展開した。

#### 堤直人(つつみ なおと)

立体造形作家を目指す元サラリーマンデザイナー。靴のデザイン、企業広告部での宣伝物制作を経て2019年より自由人

となり、さいたま国際芸術祭サポーターとして活動。へそたんけん2023から学生時代以来37年振りの制作活動を再開。

#### 利根川兼一(とねがわ けんいち)

オルタナスペースや人の交わりの可能性をしりたくて、空き家を利用してspace845を運営している。アートプロジェクト

を裏から支えることをやってきたが、最近は自ら表現する楽しみに目覚めてしまったかも。

space845 について



#### 日本工業大学建築学科 勝木祐仁研究室

日本工業大学建築学科の研究室。日常生活環境を歴史的視点から読み解く研究を多く行っている。場所に流れた時間、暮らしと環境の相互作用、一人ひとりの生きた時間や記憶へのまなざしを大切にしている。そのような視点を携え、まち

づくりに関する取り組みにも複数のフィールドで行っている。宮代町における「まちをアルバムにする」に協力したのを契機として、写真の中の人物の等身大パネルを制作することを手法化した。「京島をアルバムにする」で「すみだ向島EXPO」(2022年・2023年・2024年)に出展。

#### DamaDamTal(ダマダムタル)

・さいたま国際芸術祭 Sightama Arts Center Project(2020, 2023) パフォーマンスプロジェクト。・中之条ピエンナーレ(2019, 2021, 2023) 2016年、みきたまき、大塚 陽により結成。・黄金町AIR2018年レジデンスアーティスト

DamaDamTal  
ウェブサイト



#### わたしのへそ本委員会

人と人がつながる場所である進修館2Fロビーが、本を通じてさらに居心地がよくなるように、との思いで集まった「わたしのへそ本委員会」。進修館の設計コンセプトにある「進

修館は世界の中心のひとつ」に共感し、「人間の体の中心というなら、へそ」「人の大切なもの=中心=へそなのでは!」「自分の考え方や活動の基となった本=へそ本」と(勝手に)名付け、「へそ本」を通じて交流を図ることにいたしました。